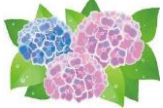




明化の教育

6月号（446号）
平成29年5月31日
文京区立明化小学校
校長 溝畑 直樹



共に豊かに生きる
—自分も大切・他の人も大切に—

副校長 齋藤 道子

すべての人は、自由に、
そして尊厳と権利について
平等に生まれている。
人は、理性と良心を授けられており、
互いにきょうだいの精神をもって
行動しなければならない。

この文章は、世界人権宣言の第一条です。

「世界人権宣言」は、1948年（昭和23年）12月10日に、国連第3回総会（パリ）において、「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」として、世界人権宣言が採択されました。

今、世界には国連加盟国が193あり、世界の人口は、74億を越えています。また、情報化や交通機関の発達に伴って、そうした国々が様々な面で交流する機会も増え、国際化やグローバル化が一層進んでいます。「21世紀は、多文化共生時代である」と、目白大学の多田孝志先生が提言しましたが、正に、その時代を生きるのが今の子供たちなのです。そこでは、様々な国の人々や様々な価値観を有する人々と、互いに理解し合い、尊重し合って、共によりよい社会の実現や自己実現を果たしていく力が、より一層求められてきます。

新学習指導要領は、そうした社会を見据え、新しい時代に必要となる資質・能力の育成を目指して、①「生きて働く知識・技能の習得」②「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」③「学びを人生や社会に活かそうとする学びに向かう力・人間性の育成」という3つを柱に据えました。また、その具現に向け、「何ができるようになるのか」、そのために「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」の3視点からの授業改善とカリキュラムマネジメントの必要性を明示しました。

しかし、こうした取組の根底には、何と言っても、多様な価値観や背景をもつ人々と共に豊かに生きる上で大切な「人権尊重の精神」が、しっかりと根付いていることが大事だと思います。

本校は、本年度、東京都の人権尊重教育推進校となり、校長のリーダーシップの下、研究主題を「自らが主体者となって生きる児童の育成」として、人権教育と道徳教育の2つを柱に、2年間の研究に取り組んで参ります。皆様には、学校便り・ホームページ・学年便り等でその取組内容を逐次お伝えして参ります。以下は、5月27日の道徳授業地区公開講座での道徳の授業と、カルガリーオリンピック・元スピードスケート選手の森山秀実様をお迎えしての講演会の様子です。

今後も、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、「自分も大切・他の人も大切に」を合言葉に、チーム明化で人権尊重教育を推進し「共に豊かに生きる学校・家庭・地域・社会づくり」に取り組んで参りたいと思います。

